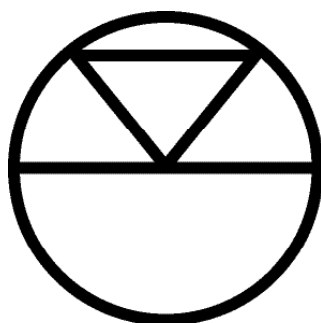


LINN

Klimax Kontrol

オーナーズマニュアル

English Français

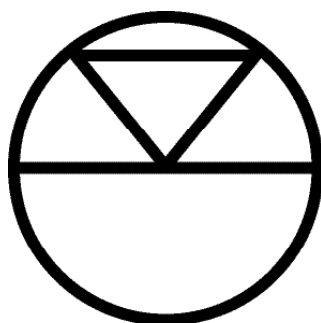


LINN

Klimax Kontrol

オーナーズマニュアル

English



LINN

Klimax Kontrol

オーナーズマニュアル

Français

保証とサービス

本製品は、ご購入いただいた国に該当する規定条件のもとに保証されており、お客様の法的な権利が制限されることはありません。お客様が有しておられる当該の法的な権利に加えて、リン社では、製造上の欠陥によって故障した部品を交換いたします。迅速に処理できるよう、リン製品販売店で、お買い上げの国におけるリン社の保証規定についてお問い合わせください。

ヨーロッパ内のいくつかの地域、アメリカ合衆国、その他の市場によっては、ご購入製品をリン社にご登録いただいたお客様に対し、内容を拡大した保証をご利用いただける場合があります。本製品に保証登録カードが付属しておりますので、販売店からスタンプをお受けになり、なるべく早くリン社にご返送ください。

警告

製品に勝手な修理や分解が行われた場合、製造者の保証は無効となります。本製品にはユーザーが修理できる部品は含まれていません。製品の修理に関してはすべて、必ず正規の販売店にお問い合わせください。

テクニカルサポートとインフォメーション

テクニカルサポート、製品に関する問い合わせや情報の請求は、最寄りの販売店か、記載のリン社事務所までご連絡ください。

最寄りのリン製品販売店・代理店は、リン社のウェブサイトでもご覧いただけます。www.linn.co.uk

重要事項

- 製品お買い上げの年月日を明らかにできるよう、お買い上げ時のレシートを保管してください。
- 修理時に製品を輸送する場合は、必ずお客様が保険をおかけください。

Linn Products Limited

Floors Road
Waterfoot
Glasgow G76 0EP
Scotland, UK
Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: <http://www.linn.co.uk>

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA
Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: <http://www.linninc.com>

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland
Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: <http://www.linn.co.uk>



技術データ

一般	寸法	60mm (高さ) x 350mm (幅) x 355mm (奥行き)
	重量	9kg
	消費電力	15W
	電源ヒューズ	100V ~ 240V AC T800mA anti-surge
	電源電圧範囲	100V ~ 240V AC nominal
オーディオ入力	インピーダンス (アンバランス)	10k Ω
	信号 (アンバランス)	0dBV (nominal) +15dBV (maximum)
	インピーダンス (バランス)	7.8k Ω
	信号 (バランス)	+6dBV (nominal) +20dBV (maximum)
	コモンモードリジェクション比	70dB (1kHz @ 0dBV)
ゲインレンジ	最小~最大	-95.5dB ~ +9.5dB (0.5dB 単位)
オーディオ出力	インピーダンス (アンバランス)	300 Ω
	信号 (アンバランス)	+15dBV (maximum) 8V peak
	インピーダンス (バランス)	600 Ω
	信号 (バランス)	+15dBV (maximum) 8V peak
	周波数特性	2.3Hz to 200kHz
	歪み (ハーモニック)	0.0025% (1kHz @ 0dBV)
	ノイズフロア	-100dBV 未満
	クロストーク (チャンネル間)	-116dBv
	クロストーク (ソース間)	-116dBv
	ノイズ測定	-123dBV @ 1kHz ($\sqrt{1}$ Hz)
ダイナミックレンジ	115dB	

安全上のご注意

本マニュアルと製品上に使用されているマークについて



危険注意のマーク。感電を引き起こすに足る危険な電圧が絶縁されない状態でエンクロージャ内に存在していることを示します。



重要注意のマーク。サービスマニュアルや指示書の中にメンテナンス、サービスに関する重要な情報が記載されていることを示します。

注意

感電の危険を避けるため、カバーを外さないでください。

ユーザーが修理できる部品は含まれていません。

修理は、正規の資格ある修理技術者に依頼してください。

火災の危険を避けるため、必ず適切なタイプのヒューズと交換してください。

ヒューズを交換する前に、電源コードを抜いてください。

警告

感電の危険。開けないでください。

火災や感電を避けるため、本製品に雨を当てたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

電源プラグ

本製品には、使用国に適した電源プラグが付属しています。配線変更はできません。

交換用の電源コードは最寄りのリン製品販売店でお求めください。

プラグを交換する場合は、配慮をもって古いプラグを処分してください。

導線が露出したプラグを通电したソケットに挿し込むと危険です。

茶色のワイヤは必ず給電ピンに接続します。

青いワイヤはニュートラルのピンに接続してください。

緑/黄色のワイヤはアースピンに接続しなければなりません。

疑問の点があれば、販売店または正規の電気技術者にご相談ください。

安全上のご注意

一般的な使用上の安全について

1. **説明書を読む**：製品を操作する前に、安全上・操作上の説明をお読みください。
2. **説明書の保管**：今後のために、安全上・操作上の事項を記載した説明書を保管してください。
3. **警告事項に注意**：製品上や操作説明書にあるすべての警告に注意を払い、指示を守ってください。
4. **指示の遵守**：操作・取扱に関するすべての指示を守ってください。
5. **水分と湿気**：製品を水を使う場所(バス、洗面所、キッチン流し台、洗濯機)の近く、また湿気の多い地下室内やプールのそばなどで使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：必ず製造者が推奨するカートやスタンドをお使いください。
- 6a. 製品とカートの組み合わせには配慮が必要です。組み合わせが不適切であると、急停止、過度の力、凹凸のある表面などによって、カートごと横転することがあります。
7. **壁・天井への取付**：壁や天井への取付は、製造者の推奨にしたがってのみ行ってください。
8. **換気**：製品の適切な換気を妨げないような場所・位置に製品を置いてください。たとえば通気する開口部を塞ぎやすいベッド、ソファ、敷物などの上、同様に空気の流れを遮りやすい造り付けの本棚やキャビネットの中に置くべきではありません。
9. **高温**：製品は、ラジエータ、ヒータ、ストーブ、その他熱を放射する器具(アンプを含む)から離して置いてください。
10. **電源**：製品は、操作説明書で指定された電源、あるいは製品上に表示された電源のみに接続してください。
11. **アースと分極**：分極プラグや接地プラグの安全上の意図を了解しそれにしたがってください。分極プラグには2つのブレードがあり、一方が他方より幅広になっています。接地(アース)タイプのプラグでは2つのブレードがあり第3はアース用ピンとなります。幅広いブレードや第3のピンは、安全のためのものです。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談して形式の古いコンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの保護**：コードは、踏まれたり、他のものの下になったり、引っかかったりすることがないように位置に通してください。特にプラグとの接続部、コンセント接続部、製品本体から出てくる部分などにご注意ください。
13. **保護用アタッチメントプラグ**：安全設計の観点から、製品には過負荷保護機構を組み込んだアタッチメントプラグが付属しています。プラグのリセットや交換については、マニュアルを参照してください。プラグを交換する必要がある場合、必ず同じ過負荷保護機能を備えたものを使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の推奨する方法にしたがってください。
15. **送電線**：屋外アンテナは、送電線から離して設置してください。
16. **屋外アンテナの設置**：チューナー/レシーバーに屋外アンテナが接続されている場合は、電圧サージや静電気発生に対する保護のためアンテナにアース接続を行うべきです。アメリカ合衆国においては、設置に関するNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の第810項を参照のこと。
17. **落雷**：落雷の恐れがあるときには製品のプラグを抜いてください。また長期間使用しないときもプラグは外しておきましょう。
18. **異物・液体の混入**：機器の内部にもよ液体が入らないようにしてください。水が垂れるところ、水はねがあるところには製品を置かないでください。液体を入れた容器を製品の上に載せないでください。
19. **修理が必要な損傷**：次のような場合、正規の資格ある技術者に修理を依頼してください。
 - a) 電源コード、プラグがこわれたとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨にぬれたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動中の挙動にはつきりと変化があるとき
 - e) 製品が落下したり、ケースに損傷が起きたりしたとき
20. **修理**：マニュアルに記載された範囲を超えて、修理しようとししないでください。記載事項以外はすべて、正規の資格ある技術者に依頼してください。

安全上のご注意

英国のユーザーのみなさまへの安全情報

電源プラグのヒューズ交換

本機器には、配線変更のできない13アンペアの電源プラグが付属しています。プラグには5アンペアのヒューズが付いています。ヒューズが飛んだ場合は次のように交換することができます。

- a) 赤いヒューズカバー/キャリアを引き抜く。
- b) 茶色のヒューズを外して、廃棄する。
- c) 新しい5アンペア BS1362 ヒューズをキャリアに入れ、キャリアをプラグに押し込む。

必ずヒューズカバーを付けてください。ヒューズカバーがない場合はそのプラグを使わないでください。交換用ヒューズカバーはリン製品販売店でお求めください。ヒューズは火災防止用です。感電を防止するわけではありません。

電源プラグ交換

電源プラグを交換する必要がある、ご自分で行う場合は、次の指示にしたがってください。自信のない場合は、リン製品販売店または専門の電気技術者にご相談ください。

- a) プラグを電源から抜きます。
- b) プラグ部分を切り離して、安全に廃棄します。導線が露出したプラグを通電したソケットに挿し込むと危険です。
- c) 必ず5アンペアヒューズ入りの13アンペアBS1363Aプラグをご使用ください。
- d) 信頼できるプラグの大部分には、接続点に色分けまたは文字でワイヤの区別が示されています。各ワイヤを対応するところにしっかり固定します。茶色のワイヤはLiveピン、青いワイヤはNeutralピン、緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続しなければなりません。
- e) プラグの蓋部分を取り付ける前に、ケーブル留めがケーブルの外サヤをしっかりと押さえ、ワイヤが正しく接続されていることを確認してください。

警告

この機器にはアース接続が必要です。

CE 規定への準拠 & FCC 情報

CE 規定への準拠

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令73/23/EEC および電磁互換性規定89/336/EEC (92/31/EEC および93/68/EEC にて改正) に準拠していることを言明します。

当該製品が指令番号73/23/EEC (LVD)の条項に準拠することは、下記の基準遵守をもって証されるものです。

基準番号	設定年	試験形式
EN60065	1998	一般的要件 マーキング 有害な放射 正常な条件下の温度上昇 正常な作動条件下の感電の危険 絶縁要件 故障要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント サーマル装置 外部のフレキシブルコード 電気接続部と機械付属部品 感電に対する保護 安定性と機械に関する危険 難燃性

当該製品が指令番号89/336/EEC (EMC) の条項に準拠することは、下記の基準遵守をもって証されるものです。

基準番号	設定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免除

FCC 情報

注記:

本機器は試験の結果、FCC 規則第15 部にしたがって、クラスB デジタル装置に課された諸リミットを遵守していると認められます。これらのリミットは、家庭用装置への受信妨害に対する妥当な保護を目的として定められたものです。本機器は、無線周波を発生したり、使用したり、放射したりし、指示にしたがって設置・使用されないと、無線通信を妨害する可能性があります。しかし、特定の設置において妨害が起らないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害すると思われる場合は、本装置のスイッチを切ることによって確認できます。以下のような方法で、受信妨害を是正するようお奨めします。

- 受信アンテナの位置または向きを変える。
- 装置と受信機の距離を遠ざける。
- 受信機が接続されているのは別の回路の電源に装置をつなぐ。
- 製品取扱店または経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談する。

著作権情報

Copyright © Linn Products Limited. 初版2002年9月

Linn Products Limited, Floors Road, Waterfoot, Glasgow, G76 0EP, Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。本マニュアルのいかなる部分といえども、発行者からの書面による事前の許可なく、電子的、機械的、複写、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、伝送を行うことはできません。

Printed in the United Kingdom.

KLIMAX、KONTROL、Linn のロゴは、Linn Products Limited (リン・プロダクツ・リミテッド) の商標です。

本マニュアルの掲載内容はあくまでも参照用です。予告なしに変更されることがあり、Linn Products Limited (リン・プロダクツ・リミテッド) が当該情報について責務を負うものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに何らかの誤謬や不正確な記述があった場合も、それに対して責任を負うことはありません。

目次

はじめに	3
開梱	4
電圧	4
お手入れ	4
バックパネル	5
フロントパネル	6
ハンドセット	7
ソースのセットアップ	8
操作の方法	12
プロダクトロック	13
ユーザーオプション	14
保証とサービス	16
技術データ	19
安全上のご注意	20
一般的な使用上の安全について	21
英国のユーザーのみなさまへの安全情報	22
CE 規定への準拠とFCC 情報	23



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

リン社のKLIMAX KONTROLは、高性能のマルチアンプ、マルチチャンネル/オーディオ、オーディオ/ビデオシステム用に設計された2チャンネルのプリアンプです。KLIMAX KONTROLは、先に発売されているリン社のKLIMAX SOLO、KLIMAX TWIN パワーアンプに次いで登場した製品です。これらがサウンド性能と高い技術力において他の追従を許さぬ製品ファミリー、KLIMAX シリーズを構成します。

KLIMAX KONTROL プリアンプは各自が独自に製作されています。製品のケーシングは高品質アルミ合金の2つのセクションから精密機械加工によってつくられます。最高品質の機械仕上げが施されるため、ケーシングの‘きめ’が目に見えることも珍しくありません。このきめは、アルミ合金の構造の一部であり、製品が1点ずつ最高の水準に仕上げられたことを示すものです。

製品のケースワークは、プリアンプ回路のいずれかで発生した熱を放射する熱交換器を形成するとともに、内部の電子装置を保護安定させる役割も果たします。全KLIMAX 製品は内部がコンパクトになるよう設計されていますが、これはオーディオ信号パスをできる限り短くシンプルに維持したいという方針を反映するものです。こうしたアプローチの徹底が、電氣的ノイズを絶対的な最低限に押さえた高密度回路に結実しました。

KLIMAX シリーズの他の製品と同様、KLIMAX KONTROL プリアンプは、常により良い製品を生み出すために最新技術に取り組むリン社のたゆみない努力を体現しています。ユニットには、リンのスイッチモード電源や、バランスおよびアンバランス双方の出入力などが組み込まれています。

私たちは、音楽愛好家のために、その最愛の音楽をできるだけ忠実に再現できるよう、いっさいの妥協を排してこの製品をつくり上げました。これから何年もの間、音楽を聴く喜びとご満足をお届けできるものと確信しています。

KLIMAX 設計チーム一同

The image shows seven handwritten signatures in blue ink, arranged in two rows. The top row contains four signatures, and the bottom row contains three. The signatures are stylized and difficult to read, but they represent the members of the KLIMAX design team.

はじめに

開 梱

お買い上げのKLIMAX KONTROLには、次のようなアクセサリが付属しています。

- 電源コード
- ハンドセット
- シルバーのインターコネクト
- 保証カード
- 本マニュアル

将来、装置を移送する可能性に備えて、パッケージをすべて保管しておくようお勧めいたします。

電 圧

KLIMAX KONTROLには、自動的に作動する電圧スイッチが組み込まれており、世界各地のあらゆる電圧(100V～240V)に適合して作動します。入力電圧を手動で設定することはできません。

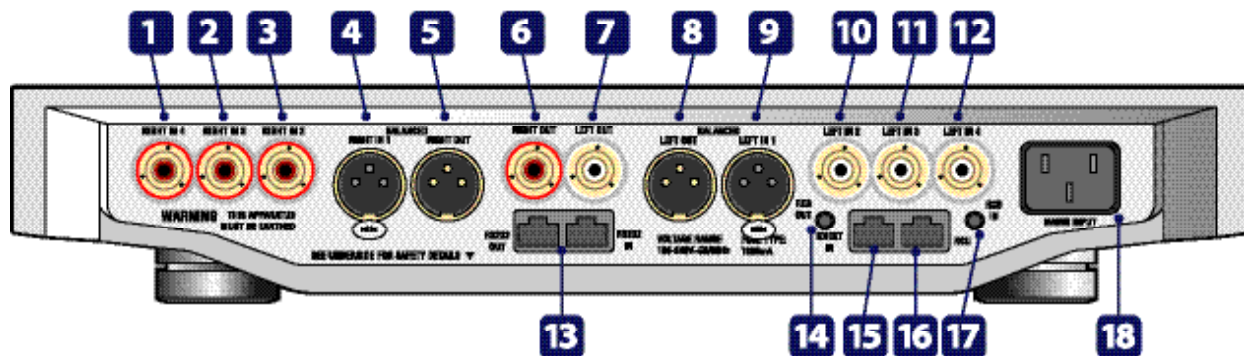


装置にはアース接続が必要です。付属のプラグをお使いください。アースのないプラグやアダプタは使わないでください。

お手入れ

クリーニングする前に、KLIMAX KONTROL プリアンプの電源を外します。ほこりや指紋などの汚れは、乾いた柔らかな布で拭きとってください。家庭用洗剤は使用しないでください。

バックパネル

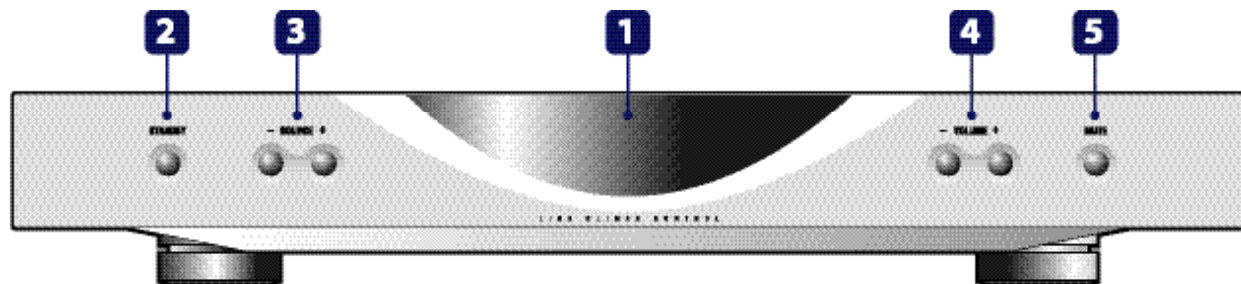


- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 RIGHT IN 4 – アンバランス入力 | 13 RS232 OUTPUT/INPUT – コンピュータやタッチスクリーン式
インターフェイス経由用 |
| 2 RIGHT IN 3 – アンバランス入力 | 14 RC5 OUT – KNEKT システム中における本製品コントロール用 |
| 3 RIGHT IN 2 – アンバランス入力 | 15 KNEKT IN – KNEKT システム中における使用のための入力 |
| 4 RIGHT IN 1 – バランスXLR 入力 | 16 RCU – KNEKT ルームコントロールユニット入力 |
| 5 RIGHT OUT – バランスXLR 出力 | 17 RC5 IN – KNEKT システム中における本製品コントロール用 |
| 6 RIGHT OUT – アンバランス出力 | 18 MAINS INPUT – グローバル電源 (100V ~ 240V) |
| 7 LEFT OUT – アンバランス出力 | |
| 8 LEFT OUT – バランスXLR 出力 | |
| 9 LEFT IN 1 – バランスXLR 入力 | |
| 10 LEFT IN 2 – アンバランス入力 | |
| 11 LEFT IN 3 – アンバランス入力 | |
| 12 LEFT IN 4 – アンバランス入力 | |



バックパネルのいずれかのプラグを接続したり外したりするときは、まずKLIMAX KONTROL をスタンバイモードにし、次に電源から外してください。この手順を守らないとサージを引き起こし、KLIMAX KONTROL やオーディオ/AV システムの部品に損傷を与える恐れがあります。

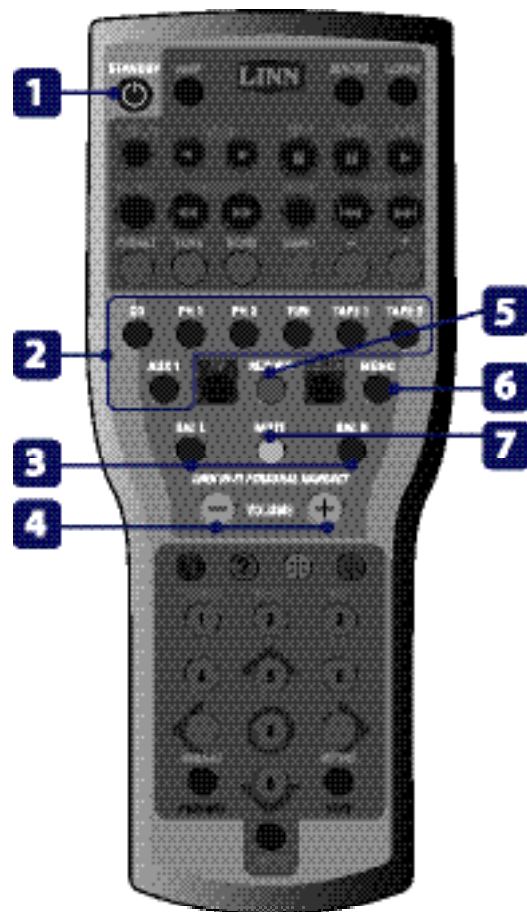
フロントパネル



- 1 フロントパネルディスプレイ
- 2 スタンバイ
- 3 ソース +/-
- 4 音量 +/-
- 5 ミュート

ハンドセット

- 1** **STANDBY (スタンバイ)**
- 2** **CD, PH 1, PH 2, TUN, TAPE 1, TAPE 2, AUX 1**
ソース選択キー
- 3** **BAL L / BAL R** バランス調節
- 4** **VOLUME - / VOLUME +** 音量調節
- 5** **RECORD (録音)** 「プロダクトロック」の項を参照
- 6** **MONO (モノラル)**
- 7** **MUTE (ミュート)**



ソースのセットアップ

KLIMAX KONTROL は、接続された全ソースについて構成する必要があります。ソースのセットアップにより、ソースが接続されているのがバックパネル入力のいずれであるか、接続されたソースのタイプは何かをKLIMAX KONTROL に指示し、必要に応じて各ソースのセットアップを行うことが可能になります。

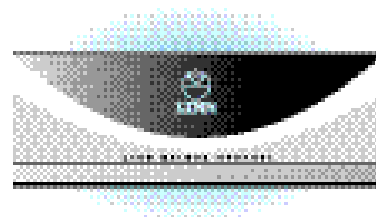
注:

ソースセットアップは最大で5つまで可能です。

セットアップのプロセス中いつでも、**STANBY** を押せば、行った調節を保存してソースセットアップモードを終了することができます。

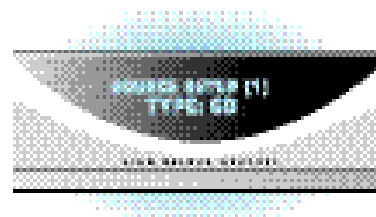
KLIMAX KONTROL の最初の構成時に設定者が定めたセッティングにリセットしたいときは、ユーザーオプションのINSTALLER SETUPをYESにしてください(15ページの「ユーザーオプション」を参照のこと)。

1 ユニットのスタンバイモードにする



2 ソースセットアップモードに入る

フロントパネルの**SOURCE +** またはハンドセットの**BAL R** を押さえて、SOURCE SETUP (1) と現在のソースタイプ (CD、PH1、PH2、TUN、TAPE 1、TAPE 2、AUX1、NONE のいずれか) を表示させます。



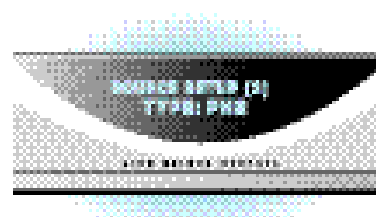
3 ソースセットアップを選択する

セットアップまたは調節したいセットアップを5種の中から選ぶ

■ フロントパネルの**SOURCE +** またはハンドセットの**BAL R** を繰り返し押すか、押し続けるかします。

SOURCE SETUP 1 はバランス入力*用、SOURCE SETUP 2・3・4 はアンバランス入力用、SOURCE SETUP 5 はKNEKTシステムとの併用で使用します。

* SOURCE SETUP 1 は、ユーザーオプションでアンバランス入力に設定することができます(「ユーザーオプション」の項を参照のこと)。



ソースのセットアップ

4 ソースタイプを変更する

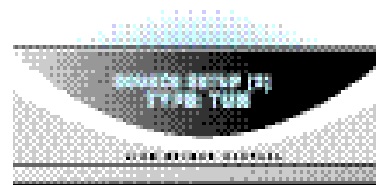
ハンドセット上の使用したいキー名に合わせてソースタイプを選択します。同タイプの装置が2つ以上 KLIMAX KONTROL に接続されている場合 (例えば CD プレイヤーが2 台あるときなど) には、ひとつのソースタイプを何回か選ぶことも可能です。

次のソースタイプ/前のソースタイプを表示するとき

■ **VOLUME + / VOLUME -** を押します。

セットアップ1 ~4 を行うソースタイプ: CD、PH1、PH2、TUN、TAPE 1、TAPE 2、AUX1、NONE*

セットアップ5 を行えるソースタイプ: KNEKT、NONE*



5 ソース名を変更する

ソースに名前をつけ、選択したときにその名を表示させることができます。

フロントパネルの **SOURCE -** またはハンドセットの **BAL L** を押します。

ソースの現在の名前が表示され、最初の文字が点滅します。

文字を変更する

■ **VOLUME + / VOLUME -** を繰り返し押すか、押し続けるかすると、文字が一巡します。

使用できる文字: A ~ Z、0 ~ 9、スペース

次の文字に移動する

■ **MUTE** を押します。

注:

ソース名は最大8文字です。

* 使用していないソースセットアップには、NONE を選んでください。



ソースのセットアップ

6 ソースのボリュームオフセットを変更する

「ボリュームオフセット」は、ソースの音量を他のソースとの関連で調整する機能です。あるソース、たとえば同じ音量設定で聴くときのチューナーの音量がCDプレイヤーの音量より低い場合などに、ボリュームオフセットを使うことができます。

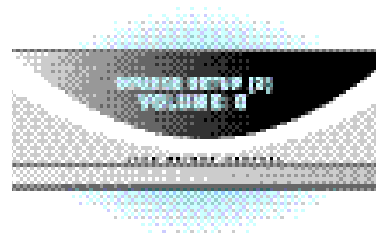
再び**SOURCE -** または**BAL L**を押します。

ディスプレイに、そのソースのボリュームオフセットが表示されます。

当該ソースのボリュームオフセットを増減する

■ **VOLUME + / VOLUME -** を繰り返し押すか、押さえ続けるかしてください。

ボリュームオフセットの範囲は、0.5ステップごとに40段階、-10(最低)から10(最高)までとなります。ただし0となることはありません。



7 ソースのバランスオフセットを変更する

「バランスオフセット」は、他のソースとの関連でソースのバランスを調整する機能です。あるソース、たとえばチューナーを聴くときに、左チャンネルを通すほうが右チャンネルからより音量が大きい場合などに、バランスオフセットを使うことができます。

再び**SOURCE -** または**BAL L**を押します。

ディスプレイに選択されたソースのバランスオフセットが表示されます。

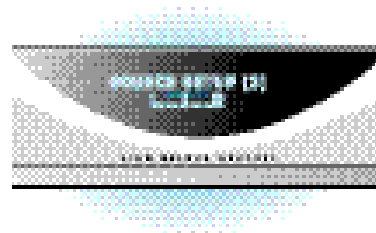
バランスオフセットを右へシフトする

■ **VOLUME +** を繰り返し押します。

バランスオフセットを左へシフトする

■ **VOLUME -** を繰り返し押します。

バランスオフセットの範囲は、左へ5段階、右へ5段階となっています。



ソースのセットアップ

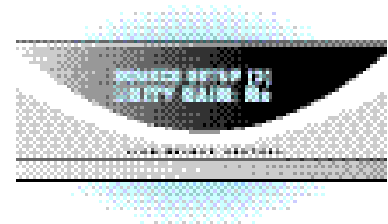
8 ソースのユニティゲインを変更する

ユニティゲインのセッティングで、KLIMAX KONTROL をマルチチャンネルAV システム内で使えるようにします。

ソースのひとつとしてAV プロセッサをセットアップし、KLIMAX KONTROL を介してフロントスピーカーを使う場合に、ユニティゲインをYESとしてください。**その他の場合はすべてNOにセットします。**AV プロセッサ以外のソースに対してユニティゲインをYESとすると、KLIMAX KONTROL からの音量が非常に大きく、調節もきかなくなり、ラウドスピーカーに損傷を与える危険があります。

再度**SOURCE -** または**BAL L**を押します。

ディスプレイは、選択されたソースのユニティゲインがON (YES) であるかOFF (NO) であるかを表示します。



ユニティゲインのセッティングを変更する

■ **VOLUME +** を押します。

9 ソースセットアップモードを終了する

調節内容を保存してソースセットアップモードを終了する

■ **STANDBY** を押します。

注:

KLIMAX KONTROL の構成時に設定者が定めた最初のセッティングにリセットしたいときは、ユーザーオプションのINSTALLER SETUP をYESにしてください(15ページの「ユーザーオプション」を参照のこと)。

操作の方法

この項でKLIMAX KONTROLの一般的な操作方法を解説します。

スタンバイモード

スタンバイモードの開始と終了

■ **STANDBY** を押します。

ソースの選択

ハンドセット

ソースの切替え

■ 選択するソース (例: CD) のキーを押します。

注:

ひとつのソースタイプを何回か使用している場合 (9 ページの「ソースセットアップ」を参照)、該当するソースキーを繰り返し押すと、使用できるソースが順次出ます。

フロントパネル

ソースの切替え

■ **SOURCE + / SOURCE -** を繰り返し押すか、押し続けるかして、目的のソースをフロントパネルに表示させます。

音量

音量を調節する

■ **VOLUME + / VOLUME -** を繰り返し押すか、押し続けるかします。

音量の範囲は1～100 (0.5 ステップごとに200 段階) となっています。

ミュート

ミュートのON/OFF を切替える

■ **MUTE** を押します。

バランス

ハンドセットのみ

バランスを調整する

■ **BAL L / BAL R** を繰り返し押すか、押し続けるかします。

バランスの範囲は、左へ15 段階、右へ15 段階となっています。

ステレオ/モノラルの切替え

ハンドセットのみ

ステレオとモノラルを切替える

■ **MONO** を押します。

プロダクトロック

プロダクトロックは、KLIMAX KONTROL がパワーアップ中 (スタンバイモードでないとき) に変更 (スタンバイ切替え、音量変更、ソース変更など) を加えられるのを防止します。

注:

プロダクトロックは、ユニットのパワーアップ中にしかONにできません。

プロダクトロックをONにする

- フロントパネルまたはハンドセットの**MUTE** を押し続けて、ディスプレイに「LOCK？」の表示を出します。
- 「LOCK？」が表示されている間に、ハンドセットの**RECORD** を押します。ディスプレイは「KEY LOCKED」となります。

これでプロダクトロックがONになります。

プロダクトロックをOFFにする

- フロントパネルまたはハンドセットの**MUTE** を押し続けて (約12秒間)、ディスプレイに「UNLOCK？」の表示を出します。
- 「UNLOCK？」の表示中に、ハンドセットの**RECORD** を押します。

これでプロダクトロックが解除されます。

ユーザーオプション

この項では、それぞれのニーズに合わせてKLIMAX KONTROLの諸機能をカスタマイズする方法を解説します。

注:

ユニットはスタンバイモードとなっているものとします。

ユーザーオプションモードに入る

STANDBY を押し続けて、フロントパネルのディスプレイに **SLEEP DISPLAY** という表示を出します。

順次各ユーザーオプションを表示させる

フロントパネルの **SOURCE + / SOURCE -** またはハンドセットの **BAL R / BAL L** を繰り返し押すか、押し続けるかします。

オプションのひとつのセッティングを調節する

VOLUME + / VOLUME - を繰り返し押します。

セッティングを保存してユーザーオプションモードを終了する

STANDBY を押します。

ユーザーオプションの種類と内容は以下の表のとおりです。

太字で示されているのがデフォルトです。

ユーザーオプション	内容	可能なセッティング
SLEEP DISPLAY	スリープモードのときのフロントパネルディスプレイ。	VOLUME , LOGO, SOURCE, NOTHING
SLEEP TIME	最後にキーが押されたときから上記スリープディスプレイになるまでの時間(秒)。	2s , 5s, 10s, 20s, NEVER
INPUT 1	入力1の信号タイプ。	BALANCED , UNBALANCED
STARTUP SOURCE	スタンバイから出たときにユニットが選択するソース。	INPUT 1 , LAST SOURCE, INPUTs 2-5
STARTUP VOLUME	スタンバイから出たときにユニットが選択する音量レベル。	DEFAULT , LAST SOURCE
DEFAULT VOLUME	上記スタートアップボリュームがデフォルトの場合、スタンバイから出たときにユニットが選択する音量レベル。	50/(-40dB) , 0/(-∞) to 100/(+10dB)

ユーザーオプション

ユーザーオプション	内容	可能なセッティング
MAX VOLUME	音量コントロールの上限。	100/(+10dB), 0/(-∞) to 100/(+10dB)
BINDING	GLOBAL に設定されると、各ソースに同じ音量とバランスのセッティングが使われる。PER SOURCE なら、ソースごとに異なる音量とバランスのセッティングが可能。	GLOBAL, PER SOURCE
PRODUCT IR	ユニット前面の赤外線レシーバの作動と不作動を選択。	ENABLED, DISABLED
REMOTE IR	ユニットがどの赤外線装置に応答するか、または赤外線リモート装置からの作動を不可とするかを選択。	RCU, NOTHING, MOGEYE
UNITS	音量表示の単位。	NUMERICAL, dB
LOGO	スリープディスプレイのオプションで使われるロゴの選択。	Linn logo, musical notes
KEY RATE	+/- キーが押されたときの音量変化の度合い。	21 , 範囲は1 (いちばん遅い) ~ 40 (いちばん速い)
MUTE RATE	ソース切替えやミュート/ミュート解除のときの変化の度合い。	3 , 範囲は1 (いちばん遅い) ~ 10 (いちばん速い)
BRIGHTNESS	フロントパネルディスプレイの輝度。	15 , 範囲は0 (最も暗い) ~ (最も明るい)
RS232 CONNECTION	RS232 回路の作動・不作動を切替える。	ENABLED, DISABLED
DEVICE ADDRESS	ユニットがいずれのRC5 アドレスに応答するか。	HANDSET, 0x10, 0x13
INSTALLER SETUP*	最初の構成時に設定者が定めたセッティングにユニットをリセットしたいとき、YES にセットする。	NO, YES
FACTORY SETUP** (only appears if installer settings have been altered.)	出荷時のセッティング (すなわち右のデフォルト諸設定、ソースセットアップはブランク) にリセットしたいとき、YES にセットする。	NO, YES

* YES にセットすると、ユニットは、最初のソースセットアップ中にソースに付された名前を表示します。

** 出荷時のデフォルトにリセットするには、まずインストーラセッティングをリセットし (INSTALLER SETUP オプションを YES にする)、その後いったんオプションモードを終了してから、再度同モードに入る必要があります。